

令和5年度 学校自己評価システムシート (県立越ヶ谷高等学校 定時制課程)

目指す学校像	基礎学力を身につけ、社会で主体的かつ前向きに生きることのできる人材の育成
--------	--------------------------------------

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の基礎学力の充実に向けて、授業の改善を図る。 2 生徒の学校生活の充実に向けて、効果的な特別活動や教育相談等を行う。 3 定時制高校の教育活動の理解を深めるため、情報発信を行う。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標			年度評価(令和6年2月1日 現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<p>・多様な学習歴及び生育歴の生徒が多く在籍しているため、個々の生徒に応じた学習支援をさらに充実させる必要があり、将来の社会的自立と経済的な安定が望まれる。昨年度は、成績不振による退学者を大幅に減少させることができたので、さらなる学力のアップが課題である。</p> <p>・県の支援事業等を活用し、外部機関の専門的な人材と連携すると共に教員を目指す若い人材の育成を含めた学習支援を行い、きめ細やかな個別指導を展開していく。</p>	<p>・基礎学力の定着のため、授業の工夫改善に取り組む。</p>	<p>1 授業公開や研究授業を実施しわかる授業の精度を高める。 ・アクティブラーニングや ICT 機器を効果的に活用し、コミュニケーション力や主体的に考える力を育成する。 2 観点別評価の基準等を検証し、指導と評価の一体化を共有し改善していく。</p>	<p>1 日々の授業を通して、対話的授業や ICT 機器等の効果的な活用 ・授業公開による授業工夫改善(年2回) ・少人数習熟度クラス等の授業形態の工夫(英語、体育:全学年) ・成績優良者の増加(昨年度平均23.6%) ・生徒授業アンケートによる理解度の向上(11月1月 昨年度91.7%) 2 観点別評価の基準の検証(教育課程委員会等)(昨年度 評価規準を2回調整)</p>	<p>1 授業公開(学校説明会):11月1月2月に6日間実施 ・中学生、保護者等が見学のため参加した。(65名参加 昨年度比35.4%アップ) ・少人数習熟度クラス 英語体育全学年実施 ・1,2学期成績優良者平均40.0%(昨年度比16.4%増加) ・生徒授業アンケートによる授業理解度 82.1%(10月12月実施 昨年度比 9.6%減少) 2 観点別評価の基準の検証を行い、昨年度の基準の微調整の結果、今年度は調整なしで進めることができた。</p>	A
		<p>・県の支援事業等を活用し、外部機関の専門的な人材と連携すると共に教員を目指す若い人材の育成を含めた学習支援を行い、きめ細やかな個別指導を展開していく。</p>	<p>1 多文化共生推進事業を効果的に活用し、外国籍の生徒への日本語支援と学習指導を継続的に実践していく。 2 学習サポーター事業を活用して、授業での個別支援を充実させる。</p>	<p>1 外国籍の生徒への授業補助、日本語の補習授業等(日本語支援員:年間70日) ・定通教育振興会事業の補助金の活用(昨年度 日本語教材を購入) 2 学習サポーターを効果的に活用し、授業でチームティーチングにより、授業内容の理解度をアップさせる。(昨年度:学サポ5名)</p>	<p>1 外国籍をルーツにもつ生徒の授業補助、日本語補習、日本語検定2級合格への課外授業(日本語支援員:年間80日)日本語運用能力向上のため、学習の積み重ねと学習意欲の継続と工夫(支援日誌、ブリーフィング、授業支援等) 2 学習サポーターを効果的に利用、授業及び学校行事等でチームティーチングや支援を行い、授業内容の理解や学習意欲の向上を行った。(今年度 大学生3名が貢献)</p>	A
2	<p>・学校行事と進路指導等を連携させ、効果的に個々の生徒に付加価値を付け、自己肯定感を向上させるとともに進路未決定者を減少させることが課題である。</p> <p>また、転退学者を減少させるとともに様々な課題を抱えた生徒に対して、心に残る楽しい学校生活を送ることができるよう心のケアに努めることが先決である。</p>	<p>・学校生活を充実させるために効果的な教育活動を展開する。</p>	<p>1 学校行事等を通して、自己肯定感を向上させ、生徒参加率を増加させる。 2 外部機関等を積極的に活用し進路指導を組織的に行う。</p>	<p>1 学校行事等の参加率の増加(昨年度 体育祭、文化祭、遠足、予餞会の参加率平均89.4% 前年度比10.4%増) 2 進路指導の外部機関との連携(昨年度ハローワーク、SSW、NPO法人等) ・進路決定率目標100%(昨年度88.0%)</p>	<p>1 学校行事等の参加率の増加:体育祭、文化祭、遠足、予餞会の参加率平均 80.2% 前年度比9.2%減少 2 進路指導の外部機関との連携・民間企業によるガイダンスと講演会、卒業生進路講演会・進路決定率70.0%(1/22現在) 昨年度比減少だが、一昨年度比1.4%アップ</p>	A
		<p>・生徒の実態に応じて、教育相談及び生徒支援を組織的に行う。</p>	<p>1 特別支援コーディネーター及び校内支援委員会を中心に生徒支援を継続的に行う。 2 県の事業等を効果的に活用し教育相談、生徒支援に積極的に取り組む。</p>	<p>1 校内支援委員会実施により全教職員と情報共有、保護者との連携(昨年度14回) ・学校生活アンケートの実施(昨年度学校生活満足度82.1%) 2 特別支援教育巡回支援員、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)の効果的利用・退学者の減少(昨年度5名)</p>	<p>1 校内支援委員会の実施により情報の共有、保護者との連携を深めた。年間9回 SC、SSW 関係はその都度共有。学校生活アンケート(学校生活満足度)69.1%が満足と回答。(昨年度比 13%減少) 2 特別支援教育巡回支援、スクールカウンセラーの効果的活用、スクールソーシャルワーカーの学校独自に雇用退学者5名12/31現在(昨年度5名)</p>	A
3	<p>・本校定時制課程が地域社会において一定の役割を果たしているとの評価をいただいている。</p> <p>今後も教職員全体でその存在意義を認識し、様々な方法でその魅力を発信し、保護者や地域の理解を深めていく。</p>	<p>・地域や中学校に本校定時制の役割と教育活動を発信する。</p>	<p>1 本校定時制における学校生活について、ホームページを通して、保護者や地域に継続的に発信する。 2 学校公開、学校説明会、中学校訪問、NPO法人等訪問を積極的に実施する。</p>	<p>1 ホームページの更新回数(昨年度51回) ・特別支援教育研修会による小中高連携(昨年度9月実施 越谷市の小中と連携) ・中学校訪問(8、10、1月) 2 授業公開、学校行事等の来校保護者数(文化祭来場者数昨年度72名) ・学校説明会参加者数(11、1、2月)(昨年度28組参加) ・NPO法人等の外部機関と連携(新規)</p>	<p>1 ホームページの更新回数35回 ・総合的な探究の時間、学校行事等を発信した。 ・中学校訪問 33校(越谷、草加、八潮、松伏)(8月管理職、1月は全教員分担で訪問) 2 授業公開、学校行事等の来校保護者数(文化祭来場者数95名 昨年度比 32.0%増加) ・学校説明会参加者数30組(11、1、2月)(昨年度比 1.1%増加) ・多文化支援学習塾、自立援助ホーム等と連携(通年)</p>	A

学校関係者評価	
実施日(令和6年2月16日)	
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>・成績優良者の増加と不登校生徒数の増加では、生徒層が二極化しているようである。出席率の向上が課題である。また、基礎学力の定着のため様々な取組を継続していただきたい。</p> <p>・観点別評価の検証をさらにしていただき、生徒の実情に似合った評価システムを構築していただきたい。</p> <p>・不登校、外国籍等の生徒の支援として様々な取組を提供する中で外部の専門的な機関と連携していることは高く評価している。また、学習サポーターを活用し、よりよい学習環境を構築している。</p> <p>・学校行事への生徒参加率が昨年度より減少しているが、一喜一憂をせず、数年を見据えて継続していく。また、学校行事等で自己肯定感の向上は進路決定率アップと自立にも繋がるので、継続して取り組んでいく</p> <p>特別支援教育研修会を9月に実施越谷市内小学校、中学校、高校との連携を深めるきっかけとなったので継続して取り組んでいく。校内支援委員会も「働き方改革」を意識して分担しながら丁寧に運営していく。</p> <p>・保護者や中学校、外部機関の本校定時制への関心が高まっていることが伺える。中学校を含め、地域の方々に本校定時制の存在意義が浸透してきている。生徒に多くの付加価値と自己肯定感を身につけさせていただきたい。</p>